

境港市議会が決議書

適合性審査で中電に提出

境港市議会が13日、中国電力島根原発3号機（松江・市鹿島町片匂）の原子力規制委員会への新規制基準適合性審査申請に関し、実効性のある避難計画を策定するまで審査申請しないよう求める決議書の中電に提出した。

決議では、事故時に原発から5キロ圏内の住民が先に避難し、その後5〜30キロ圏内の住民が避難する2段階の現行の避難計画は非現実的で、屋内退避で放射性物質の被ばくを最小限にとどめることは困難などと指摘。議員3人が13日、3号機の視察で島根原発を訪れ、枝康弘議長が中電の担当者に決議書を手渡した。

市議会は31日に全員協議会を開き、審査申請に関して議員が意見を述べ、中村勝治市長は議会の意見などを踏まえ、可否判断する。

（園慎太郎）